

南河原中だより

令和4年 4月28日発行 第2号 行田市立南河原中学校

目指す学校像
『笑顔と成長が見られる学校』
生徒・保護者・地域から信頼される学校

デジタル社会だからこそ

校長 増田 勝弘

南河原中学校では、じっくり文字と向き合い、様々な世界に触れて、ゲーム脳から豊かな脳(心)の働きに軌道修正する時間として、1年間を通じて「朝読書」を行っています。読書の効果としては、分野によっても異なるが、「知識を与えてくれる」「想像力や思考力を鍛え、判断力や創造性を培い、個人の自立の基盤をつくる」とされています。読書は、先人とのコミュニケーションの場であり、未知の世界への道案内もしてくれます。悩みの解決へのヒントを示してくれるし、自分の頭で徹底的に考え抜く訓練にもなります。個人の内面を広げてくれるし、深めてくれます。社会で必要なコミュニケーション力に、より豊かな言葉やイメージを加えてくれます。読書環境も変化し、電子書籍が生活の中に定着しつつありますが、デジタルの端末よりも紙の本の方が、内容を記憶しやすく読解力が高まるという研究結果もあります。スマートフォンなどは、脳が過剰に働き、注意力が散漫になっている可能性があり、紙媒体の方が集中して読めると考えられるそうです。

子供たちは、幼少時には絵本などを読んでもらい、幸せな気持ちになっていたと思います。成長に伴い、自分で読むようになると、読書の幅が広がってきました。共通の本について話す「共読」で気持ちを結びつけることも、経験したことでしょう。日々の生活の質を高めてきました。小学生から高校生までの間に読書量が多かった人は、大人になった時に「物事に進んで取り組む意欲(主体的行動力)」や「一時的な記憶力(認知機能)」などが高い傾向にあるという調査結果もあります。一日の中で、読書に取り組む時間が設定されていることは、子供たちの成長にとって意味があるものです。デジタル社会だからこそ、アナログの活動・紙の本を読むことの取組みへの御理解、御協力をお願いいたします。



南河原中学校の誕生日

5月9日は、南河原中学校の開校記念日です。昭和22年5月9日に開校し、今年の5月9日で満75年となります。沿革紙によると、開校当時は、木造2階建6教室の校舎で、全校生徒は140名でした。当時のことを知っている方は少ないかもしれませんが、機会がありましたら、子供たちに伝えていただきたいと思います。



新入生を迎える会

21日(木)6時間目に新入生を迎える会を行いました。2、3年生が待つ体育館に1年生が入場し、校歌披露、歓迎の言葉、部活動紹介、新入生自己紹介、新入生代表の言葉が、とても和やかな雰囲気で行われました。部活動紹介では1年生にも体験をしてもらい、笑顔と拍手が絶えない部活動紹介でした。新入生自己紹介では、自分が頑張りたいことを全員がはっきりと話すことができました。中学校ではいろいろなことにチャレンジして、キラリと光ってほしいです。



(HPでも御覧になれます)

連休の過ごし方

- 交通事故に気をつける
- 家庭学習も充実させる
- 感染症対策を継続する

連休後も連休前と同じように。

地域に愛されている学校

先日、地域の方が、校庭の草を刈払機できれいに刈ってくださいました。大変ありがたかったです。地域に愛されている学校を再認識しました。地域からの御期待に応えられるように、今後も取り組んでいきます。



日曜	行事予定	日曜	行事予定
1日		16月	
2月		17火	心臓検診予備
3火	憲法記念日	18水	歯科健診
4水	みどりの日	19木	北埼玉地区通信陸上大会、ふれあいデー
5木	こどもの日	20金	
6金		21土	
7土		22日	
8日		23月	
9月	開校記念日、1年知能検査①	24火	SC来校
10火		25水	
11水	歯科健診	26木	眼科検診
12木	小中合同挨拶運動、埼玉県学力・学習状況調査(国・数・英(2.3年のみ)・質問紙)	27金	
13金	授業参観・PTA総会	28土	小学校運動会
14土		29日	英語検定
15日		30月	教育実習開始~6/17
		31火	

◎予定が変更になることもあります。